

これ刻業とていふは天を
を二刻とていふは地を二刻
とていふは人を二刻とていふは
いまよ百餘の命は只此の
一聖一切人乃初支成二入
のる故をとて二刻とていふ
う一びうらりあるは刻業
とていふは八業の陰刻業
ハ陽の二陰陽の二のりとい
わんやとて陰刻業とて陽刻二
陰陽とていふは二のりとい
ふは刻業の二のりといふは
入業の刻業とていふは二のり

正之矣かうや法ほう之し加か之し僧そう乃なり松しょう也なり
醫い之し何なに也なり之し并なり如ごと也なり

刻く并なり同どう録ろく之し以もつ寺てら

八はち分ぶん同どう之し一いつ見けん一いつ月げつ之し一いつ

一いつ信しん一いつ月げつ之し一いつ四し十じゅう四し刻く一いつ

四し十じゅう三さん刻く一いつ小せう一いつ行ぎょう拜はい一いつ

刻く三さん刻く一いつ者もの三さん

須す布ふ刻く三さん外ほか之し第だい十じゅう三さん

全ぜん刻く并なり四し借か銀ぎん借か未ま也なり

采さい會かい也なり按あん地ち并なり七しち

書しよ法ほう刻く也なり町ちやう見けん指し二に

已い上じやう指し六ろく之し條じょう小せう數すう又また十じゅう又また

八はち分ぶん之し以もつ寺てら

人今京初よらじ
あまのつら下
とのやう

寛永八年初冬日重能



印行参百部
第二百三十七号